

しなののうた

楚楚として夕べに咲ける月見草
倦みて日を過ぐ我を誘い来

l.MI

杉田小百合

しなののうた

野辺に咲く名もある花もなき花も賞でゆく人の穏やかに見ゆ

杉田小百合



しなののうた

夕暮れの杜を賑わす蝉しぐれ性を思いて愛しさ増しぬ

l.MI

杉田小百合

しなののうた

その日より歩く歩幅を狭くして行くべき道を胸底に秘む

杉田小百合

